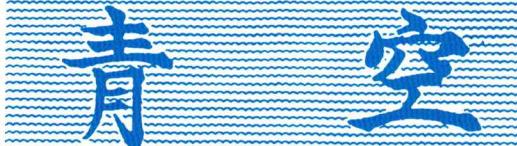




児童憲章

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。
児童は、よい環境の中で育てられる。



第37号

発行責任者 泉区中田地区青少年指導員協議会
会長國分満義
TEL 090-7422-3842
発行日 平成28年3月



中田地区青少年指導員協議会

会長國分満義



空がだめなら陸があるさ



中田地区のみなさん、第24期青少年指導員(29名)は、地域や学校等の多大なるご協力のもとに無事2年間を修了することができました。先ずは感謝申し上げます。

昨年の暮れに中学校の同級生達と集まった際に中学校時代の話に大いに盛り上がりました。私も薄れかけた記憶を思い出しながら話すとみんな大笑いました。今回はその時の取り戻した記憶を記事にして見ました。

中学生くらいまでは、将来何したいとか何になりたいとか、何も考えたことのない平凡な少年だったと思います。強いて言えば10歳年上の兄(長男)が当時中学校の臨時教員をやっていて、日曜日は兄が勤務する学校に連れられて行き、兄が顧問を務める部活の生徒と一緒に部活をやらせて頂いたことがあります。これって今思うととてもレアなケースだったように思います。そんな兄の姿を見て育ったせいか、先生になるのもいいかなと思ったこともあります。

中2か中3の頃だと思うのですが、テレビに釘付けになったことがあります。それはこれまでに見たこともないドロードカイジェット旅客機の特集番組でした。しばらく見ているとそれはボーイング747(通称ジャンボジェット機)であることが分かりました。そして私は思いました。大人になつたら、ジャンボジェット機のパイロットになりたいと。パイロットには英語が不

可欠ですから、その日からは英語の勉強を頑張ろうと思い、参考書を買ってきて英語の勉強を一生懸命やった記憶があります。(少年期から分かりやすい性格だったんですね)

16歳の誕生日が過ぎた頃、オートバイの運転免許を受けに運転免許試験場に自信満々で行ったのですが、適性検査(近視)で落ちてしまいました。自分が近視であることを知らなったのです。その時点でジャンボジェット機のパイロットの夢は夢のままになりました。だが、乗り物の大好きな私は負けませんでした。「空がだめなら陸があるさ」と気持ちを切り替えて、数年後、とある自動車メーカーに就職をしました。配属先が自分の希望する研究・実験部門であったことでテストコース内を自ら試作車等で走らせるっていました。本当に好きな乗り物の開発に従事する職業に就けたことは楽しい時代でした。空を制することはできませんでしたが、陸の上では好きなことが満喫でき、2014年9月に定年退職になりました。(現在も青指と両立しつつ勤務中です)

現在の青少年たちに望むこと、言いたいこと、多々ありますが、特に次の3つを伝えたいと思います。「自分の好きなことの実現に向かって挑戦せよ」「夢が破れたら2番目に好きなことを目標とせよ」「他の人がやることは自分にやれないはずはない」



中田小学校

校長蒲谷猛

醤油を借りる

かじて
ください!



「すいませえん。醤油かしてくださいあい。」一子どものころ、夕飯の支度をしている母が自宅の醤油がなくなっていることに気付くと、よくお隣さんに借りに行かれました。コンビニはまだ無い時代ですから、欲しい物が欲しいときに手に入るわけではありません。醤油に限らず、何か切らしてしまうとご近所からお借りするということが当たり前でした。

この「ご近所から借りる」ことをとおして、母から教えられたことの一つは、人に頼ったり人から頼られたりして生きることの心地よさや価値です。子ども心に「借りに行く」行為はかなり恥ずかしいものでしたが、手伝いに行かれるなかで、挨拶、言葉遣い、入り方・帰り方、「お隣さんにも無かった場合」の応用編まで母の事前指導を受け、実地経験を積むことは人の関わり方を学ぶよい機会の一つであったことはまちがいありません。

- ・地域の文化や自然とより豊かにかかわる学習活動を構成・実践します。
- ・学校地域相互の「参画協働」をキーワードに、多様な場面での大人と子どもとの出会い・かかわり合いを大切にします。

また、「顔を覚えられる」という効果もありました。単に「顔」ではなく、性格や成長の様子まで覚えられていたと思います。そのため、「最近背が伸びたね」「よくあいさつするようになったね」「この間、〇〇していたよ」というさまざまな情報が親の元に入ったり、場合によっては直接褒められたりしかられたりするわけです。

よき昔を懐かしむ話をしたいわけではありません。個人情報管理が不可欠な時代になりましたが、本校の子どもたちの「顔」が地域の皆様に知っていただけていることが、よりよい成長にとってとてもありがたいことであると感じています。多くの人とかかわり合って褒められたりしかられたりしながら、人と人がつながる心地よさと価値を肌で感じられるよう、本校では、次のような重点目標を立て、積極的に実践しています。今後とも、ご理解・ご協力どうぞよろしくお願ひいたします。

中田地区青少年指導員年間活動記録

ふれあい“ザ”いずみ軽スポーツ大会

平成27年5月30日

毎年恒例の軽スポーツ大会が、本年度も和泉遊水地で開催されました。区内の障がい児者と中・高・大学生をはじめとする区民が、玉入れ・デカパン競走・パン食い競走等の軽スポーツを通して、ふれあいを広め、助け合いの心を育むことを目的として、開催されます。私たちは、昼食のカレーを作るのが、メインの役割です。



▲ 障がい者と中学生ペアでデカパン競走

▲ 位置についてヨーイ・ドン

全員研修会

平成27年6月21日

本年度は上飯田地区センターで、泉少年補導員連絡会会长野村貞夫氏を講師にお迎えし、「子ども達を取り巻くサイバー犯罪の現状と対策」をテーマに講演していただき、この問題にどう対応するべきかについて質問も受けていただきました。午後はペタンクで盛り上がり、なんと中田は女性3人のチームが優勝てしまいました。



▲ 野村講師の話に聞き入る参加者

▲ ペタンクで優勝した女性3人

全市一斉パトロール

平成27年7月25日

夜間に塾通いする子どもたちが増えるなど、青少年を取り巻く社会環境は大きく変化しています。地域の社会環境調査のため、全市一斉パトロールでコンビニや書店等身近な環境の実態調査を実施しました。

キャンプ教室

(研修委員会)

平成27年7月18日～20日

このところ3年連続して利用してきたezBBQ キャンプ場から気分一新、今回は道志川沿いにある青根キャンプ場にて実施。参加者は女子38名、男子14名、青指24名に加え、助っ人に高校生が参加してくれて総勢77人です。若い助っ人は大助かりでした。今年は直前まで台風に見舞われ、中止も視野に入れた準備を進めるなど、スタッフも大変でしたが、当日は幸い台風も収まり、危ぶまれた水遊びも含め、ペタンク大会など、準備したイベントは全て実施でき、全員大事なく帰還して、楽しい夏の想い出になりました。



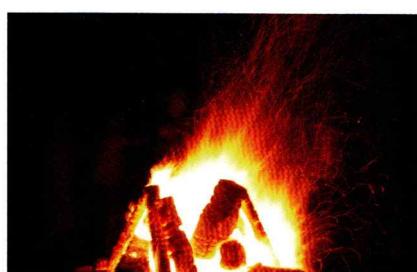
▲ 川遊びは涼しくて楽しいよ



▼ やっぱ夏の夜は花火でしょ



▲みんなで食べると美味しいね



▲想い出のキャンプファイヤー



▲またみんなで会えるといいね



サマーフェスティバル

(活動委員会)

平成27年8月22日

全国大会で金賞を受賞した中田小学校マーチングバンドのすばらしい演奏に始まったサマーフェスティバルは、中田中学校吹奏楽部の音楽や、学童保育の子ども達の迫力ある和太鼓でさらに盛り上がり、bingo大会、盆踊り、昨年中止した打ち上げ花火を復活させ、フィナーレのナイアガラと様々な催し物で、皆さんも楽しんで頂けたのではないでしょうか。グラウンドでは、地域の小学生・中学生が自ら企画したゲーム大会を開催し、ゲームに参加した子ども達だけでなく、運営に携わった子ども達も良い思い出になったと思います。

来年も楽しんで頂けるよう企画しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

最後にご協力・協賛頂きました各団体・商店など、また町内会・自治会・子供会の皆様、本当にありがとうございました。



▲学童保育の和太鼓演奏



▲新極真会泉中田道場の演武



▲子ども達によるフラダンス



▲中田小学校マーチングバンドの皆さん



▲中田中学校吹奏楽部の皆さん



▲盆踊りする子ども達

御靈神社例大祭

平成27年9月27日



▲子どもみこしワッショイワッショイ



▲女の子もがんばっています



▲山車曳き準備完了

中田連合大運動会

平成27年10月11日(雨天中止)

横浜市青少年指導員研修会

平成27年10月25日 於 磯子公会堂

東中田小学校“ふれあい Doing”

平成27年10月31日

今年は午前中授業参観があり、午後に行われました。保護者の皆様や就学前の子ども達も多数参加され例年にはない盛況でした。毎年人気のスライムコーナーや新しい遊びのキャップマグネットコーナーには長い行列ができました。昔遊びの竹馬には熱心に歩く練習をする子ども達がたくさんいました。来年度もより一層楽しいふれあい Doing にしたいと思います。



▲マグネットキャップ作り



▲竹馬上手に乗れたかな～

泉区ふれあい祭り

平成27年11月3日(和泉遊水地)

子どもたちの未来を創る“いず魅力”をテーマに、多くの区民が一堂に会し、ふれあいの場を持つことで、一層の郷土愛と相互の絆を深め、明るく元気の出る街づくりを推進する目的で行われました。好天にも恵まれ、多くの来場者で一日中にぎわいました。



▲昔遊び(けん玉・べーごま)



▲大人気のヤキソバ作りに大忙し

文化祭



(文化委員会)

平成27年11月7日・8日

第42回中田連合文化祭が開催されました。展示会場の中田小体育館には手芸や絵画をはじめ多くの力作が展示されました。今年は相撲の化粧廻しも展示され注目を集めました。グラウンドでは地元野菜の直売や飲食の模擬店に加えて宮城県中田町の皆さんにも出店いただき、雨天にも関わらず各店完売の賑わいでした。お天気にこそ恵まれませんでしたが、今年の文化祭も盛況のうちに終了することができました。来年多くの皆様方のご参加をお待ちしています。



▲自慢の力作が並びます



▲葛野小のみんなの大合唱



▲岩城実行委員長の開会宣言



▲雨に備えて念入りに会場つくり



▲初お披露目の化粧廻し

全市一斉統一行動キャンペーン(中田小学校)<文化祭時に同時開催>

新春健康マラソン 平成28年1月17日

テーマ「いつの時代も、子どもから大人まで
誰もが憧れる宇宙の世界」

中田地区青少年指導員研修会 平成28年3月5日～6日 茨城 筑波

泉区青少年フェスティバル 平成28年3月13日 泉公会堂

横浜市青少年指導員大会 平成28年3月19日 於 県立青少年センター

青少年の居場所づくりを開催 (4/18・6/20・9/19・11/21・12/19・1/16)



定例会を毎月1回開催

▲クッキー作り

▲おいしそうなクッキー

▲つるしひなに色付け

▲上手にできたね

顕彰

〈県表彰〉 〈勤続20年〉 〈勤続15年〉

〈勤続10年〉



國分満義



井上昭男



菊池忠康



藤原辰也



佐藤佳代子



深瀬広好

子どもたちと一緒に成長してきた22年間だったような気がします。これからも諦め性を大切に子どもたちに接していきたいと思います。

家族、仲間に感謝。これからも子ども達の笑顔にたくさん会えるように頑張っていきたいと思います。

青少年指導員として15年活動を続けて良かったことは、同じ仲間で友達ができることと地域の皆様と知り合いになれたことです。

地域の子どもたちのために活動を始めたて早くも10年。これからも体が続く限り頑張っていきたいと思います。

協力し合える沢山の仲間の人達と出会い、感謝の10年間でした。もう少しの間、頑張れるかな。

家族と仲間に支えてもらいながら10年間頑張ってきました。これからも楽しみながら頑張っていきます。

2年間を振り返って。

昨今ビジネスの現場では、変革や効率といった価値観が重んじられ、そのような環境に慣れた私にとっては、青指の仕事の進め方は時には真逆に見えることもあります。初めは戸惑いました。しかし、青指メンバーの真摯な姿勢や確実な仕事を遂行する姿を目の当たりにして、変革や効率だけが価値ではなく変わらないことの大切さを教わりました。これからも中田の良き伝統が変わらず続くことを願ってやみません。

(桑原 正博)

【各地区の青少年指導員★第24期】

山山向宮南南南富富広広東ひ根夏夏中中中戸高下下葛春中池朝
百神根のよ親親士士が刈刈塚田日
つ和交見見が
合前下台葉会会桜丘丘町町原丘下場場村西下苑砂村村野日場谷台
阪未小川井田伊東白栗佐高櫻上桑武島高菊原佐宇藤深國竹飯児金
尾野山副上代藤城崎原藤橋井村原井村橋池島木野原瀬分内島玉子
範雅孝隆昭一雄優和佳正邦建正麻康久忠誠友武辰廣満秀四俊恒
子之夫之男人幸美男實子宣夫也博子彦雄康司良幸也好義明朗次夫

編集後記

青少年指導員協議会の1年間の活動を写真を交えて紹介いたします。今後も皆さんが楽しく参加できるよう全員で取り組んでまいります。(広報委員)